

Dear Chiharu

チハルさん、こんにちは！

日記のお返事を拝見して、お腹のすいていたのを思い出
し、うどん屋さんに走ったのはここだけの秘密にしてお
いてください。

甘辛い味付けをこの世にもたらし大先輩には頭の下が
る思いだ—と言い訳しながら、つめたい肉ぶっかけをい
ただきました。ひやかけしかり、おうどんってつめたい
のがおいしいんですね。

そろそろ、あたたかいお出汁も恋しくなります。

~~~~~  
ずっとおぼえている、漫画やアニメのストーリー。

物語を記憶しているというところが、まさしくチハルイ  
ズムのような気がしてなりません。あなたの想像力は、  
こうして築かれていったのかもしれませんがね。

何度も読んで、観て、やがてセリフや細かな背景までお  
ぼえていって。私は絵本が好きな子どもでしたので、絵  
本の朗読をしながら一人芝居を繰り広げておりました。

おもむろに自室に登場した、部屋の広さに不釣り合いな  
トランポリンのうえで、距離感のわからない天井にむか  
って読む幼い私の姿。冷静に考えるとホラーですね。

チハルさんは想像力で、私は壁打ち。現在の基盤のよう  
な性質はこうしてつくられたのでしょうか。



*mamami \* chiharu*

交換日記 一宙一

い  
ま  
も  
、  
好  
き  
な  
も  
の  
。

2024.12.4





「子どもの頃や学生時代から変わらず好きなもの」。残念ながら重度の飽き性である私には、「モノ」で探すことは難しい気がしております。けれどもあえてここは、物理的なものでいきたいー

ありました。図ですね。きれいなイラストも良いのですが、主目的が「図」であるものが、幼い頃からなぜか好きなのです。地図も、数学の展開図とかペン図も、資料集の図も、図鑑に掲載されている一切合切も「好き」の対象です。

明確におぼえているのは、戸田デザイン研究室・戸田やすし氏の名作『こっきのえほん』。夢中になってめくっては国旗をおぼえ、改訂とともに国名や国旗の変遷を見届け…いまは、周囲の小さな友達に『こっきのえほん』を贈る喜びも知りました。

図が好きなのには少しネガティブなきっかけもあります。たぶん幼稚園児だった頃、おひさまの絵を描いて、色選びが「おかしい」と大人から指摘されたこと。子どもながらに「二度と絵なんか描くもんか」と感じたものです。不登園児にもなりました。そのせいか、描き手／書き手が「伝えよう」と必死に表した図に興味をわき、「これは面白い」という直観があったような気がしております。

チハルさんが絵やデザインで表現しはじめたのはいつ頃ですか？創作活動の原点を探ってみたい気がします。ぜひ、お聞かせくださいね。

From Manami



しゅもん  
コーナー

チハルさんからの質問の答え Q 好きな色はありますか？

A. 私もブルーが好きですね。ラピスラズリのような深めの青。その補色より赤めのブラッドオレンジ色（LOVEMEオレンジ）も好きです。

チハルさんへの質問

Q. お好きなアニメ・漫画を教えてください。私は『銀魂』。キャラ人気投票で平賀源外があんな順位だったことには、遺憾の意を表したい！